

# 「V-고 싶다」構文にみられる格助詞の交替について<sup>1)</sup>

—— 『李箱文学賞作品集 2006-2015』の用例分析を中心に——

尹 亭 仁 ・ 崔 英 姬

In this paper, we consider the particle alternation of *reul*-case to *ga*-case in ‘go shipda’ construction of modern Korean. ‘go shipda’ is the unique auxiliary adjective related with the particle alternation. We gathered 730 ‘go shipda’ usages from the novels awarded the *Lee Sang Literature Award* for ten years (2006-2015). We picked up 25 transitive verbs that show the alternation from *reul* to *ga*. This phenomenon could be seen from mainly eight verbs, for example see, eat, drink etc. We realized that these verbs were not a large number in the particle alternation of *reul* to *ga*. There are syntactic constraints in this particle alternation of ‘go shipda’ construction. It seems that this particle alternation of *reul* to *ga* in ‘go shipda’ construction is more “lexical” in some verbs than “syntactic.” The particle alternation of *reul* to *ga* in ‘go shipda’ construction is not as productive as we expected, and the *ga*-case is a marked expression.

キーワード：韓国語、願望表現、格助詞、交替、ガ格、ヲ格

## 1. はじめに

日韓両言語には「願望表現」または「希望表現」と呼ばれる共通する文法形式がある。それは図1と図2のように対応している。



図1 『君の膀胱を食べたい』(原作) 図2 『너의 췌장을 먹고 싶어』(韓国語版)

図1と図2の両言語のタイトルは(1jk)のような対応関係を呈している(以下、jは日本語の文、kは韓国語の文を表わす)。

- (1) j. 君の膀胱を食べたい。  
 k. 너의 췌장(膀胱)을<sup>2)</sup> 먹고 싶어.

この(1jk)で、「食べたい」と「먹고 싶어」の目的語「膀胱」と「췌장(膀胱)」はそれぞれヲ格で標示されている。(1jk)は、ニュアンスに違いはあるにせよ、(2jk)に言い換えができる。

- (2) j. 君の膀胱が食べたい。  
 k. 너의 췌장(膀胱)이<sup>3)</sup> 먹고 싶어.

(1jk)と(2jk)を意味役割から捉えた場合、主体の「私」または「な」は省略されており、「君の膀胱」と「너의 췌장(膀胱)」は「対象」になる。通常ヲ格標示されるこの「対象」は日韓両言語ではともに(2jk)のように、ガ格標示<sup>4)</sup>も可能である。

このような対応関係は、日本の韓国語教育の現場でも、文法項目として取り上げられている。筆者たちの場合、私家版の韓国語テキスト『ワンフレーズコリアン1』(初級レベル)の第6課で、(3kj)の用例を取り上げている。

- (3) k. 한국에서 맛있는 불고기를 많이 먹고 싶어요.  
 j. 한국でおいしいプルゴギをたくさん食べたいです。

「食べる」という動作の対象の「불고기 (プルゴギ)」はヲ格の「를」で格標示されており、(4k) のガ格の「가」でも可能である。しかし、ガ格標示の (4k) はヲ格標示の (3k) よりやや不自然に思われる。

- (4) k. 한국에서 맛있는 불고기가 많이 먹고 싶어요.  
 j. 한국でおいしいプルゴギがたくさん食べたいです。

毎週初級レベルの学生たちに課す作文の宿題に (5k) と (6k) のようなものがあつた。やはりヲ格標示の方がガ格標示より自然に感じられる。

- (5) k. 비싼 요리를 먹고 싶어요.  
 j. 高い料理を食べたいです。  
 (6) k. 한국어를 공부하고 싶어요.  
 j. 韓国語を勉強したいです。

さらに、(7k1) は小説からの用例であるが、ヲ格標示の原文をガ格標示に交替すると、(7k2) のように非文に近い表現になる。

- (7) k1. 날짜를 확인하고 싶지만 법원 출두 명령서를 숙소에 두고 왔다.  
 (14<sup>5)</sup>)  
 k2. ?\*날짜가 확인하고 싶지만 법원 출두 명령서를 숙소에 두고 왔다.<sup>6)</sup>  
 j1. 日にちを確認したいが、裁判所の出頭命令書を宿舎においてきた。  
 J2. ?\*日にちが確認したいが、裁判所の出頭命令書を宿舎においてきた。

上記に提示した用例から、「V-고 싶다」構文において、対象の格標示はヲ格が無標であるように思われる。しかし、中級レベルの課題では (8k1) と (9k1) のような用例もみられた。(8k1) の「毎日」や (9k1) の「寒いから」のように「限定された状況」では、ガ格標示が自然に感じられる。

- (8) k1. 매일 커피를 마십니다. (저는 매일) 커피가 마시고 싶습니다.  
 j1. 毎日コーヒーを飲みます。(私は毎日)コーヒーが飲みたいです。  
 k2. 매일 커피를 마십니다. (저는 매일) 커피를 마시고 싶습니다.  
 j2. 毎日コーヒーを飲みます。(私は毎日)コーヒーを飲みたいです。
- (9) k1. 추우니까 따뜻한 것이 마시고 싶어.  
 j1. 寒いから温かいものが飲みたい。  
 k2. ?추우니까 따뜻한 것을 마시고 싶어.  
 j2. ?寒いから温かいものを飲みたい。

日本で韓国語教育に携わっている筆者たちは上記のような現象と相違に理論的根拠を提示しなければならない。本稿では、韓国語の初級レベルから登場する「V-고 싶다」構文にみられる上記のような格標示の交替について、交替の構文的条件や文法性、さらに交替の頻度の程度を導き出すべく、『李箱文学賞作品集』10年間(2006-2015)に収録されている90本の短編小説の用例を対象に調査を行なった。この用例の分類・分析を通して「V-고 싶다」構文にみられるヲ格からガ格への格標示の交替の特徴と条件を浮き彫りにし、それを韓国語の授業に役立てたい。

## 2. 「V-고 싶다」構文の特徴

### 2.1 「싶다」の文法的分類

韓国語学で、「싶다」は「補助形容詞」として分類される。『東亜新国語辞典』(2003:1484)では「용언 어미 '-고' 뒤에 쓰이어 하고자 하는 마음이 있음을 나타냄 (用言の語尾である「-고 go」の後に用いられ、しようとする気持ちがあることを表わす: 訳は尹亭仁)と記述し、「먹고 싶다 (食べたい) / 하고 싶다 (したい)」を例として挙げている。(1k)と(2k)で取り上げたように、「먹고 싶다」の対象になる名詞句は主格助詞「가 ga/ 이 i」でも、対格助詞「를 reul/ 을 eul」でも格標示ができるのに、それについては触れていない。日本語母語話者のための辞書である尹亭仁(2009)でも用例は1つだけ提示されている。

『標準国語大辞典』インターネット版<sup>7)</sup>でも、「補助形容詞」として分類され、用例が載っているが、本稿で注目している助詞の交替につながる用例は提示されていない。

南基心・高永根(2014:119)でも「희망(希望)」を表わす補助形容詞

として分類されており、「(고) 싶다」と共起関係を示し、「금강산에 가고 싶다 (金剛山へ行きたい)」という一例が提示されているのみである。韓国の国語辞典や韓国語学の概論書からは、本稿で取り上げている「V-고 싶다」がそれほど比重を占める問題でもないような印象を受ける。「V-고 싶다」は専門的な考察のテーマのように思われるが、韓国語教育の現場にいる筆者たちは日々ぶつかる問題である。

## 2.2 「싶다」の活用

補助形容詞「싶다」は本用言との結合によって概ね「願望」(「希望」)や「推測」を表わす。本稿で取り上げる願望を表わす「싶다」は、(10)の結合様式になる。用言の語幹に連結語尾「-고 go」が繋ぎ役をする形になる。日本語の補助動詞の「V-ている」や「V-てしまう」に対応する「V-고 있다」や「V-고 말다」と同じ形式を取る。

### (10) (動詞・一部の助詞<sup>8)</sup>) -고 싶다

同じ文法的機能をする日本語の「たい」は助動詞<sup>9)</sup>であり、(11)の結合様式になる。

### (11) (用言) -たい

「V-고 싶다」以外に補助形容詞として分類される文法項目は、「V-게 생기다 (V-はめになる)」「A-ㄴ가 /-은가 /-는가 싶다 (A-みたいだ)」「V-ㄴ까 /-을까 /-를까 싶다 (V-たい)」「V-면 싶다 (V-たい)」「V-ㄴ가 /-는가 보다 (V-みたいだ)」「V-ㄴ까 /-을까 보다 (V-たい)」「V-나 보다 (V-みたいだ)」など40個近くある。日本語訳が同じになるものもあるが、韓国語としてはニュアンスに微妙な違いがある。補助形容詞の中で、本来本動詞と無標として共起するヲ格が文脈によってガ格と交替する現象がみられるのは「V-고 싶다」構文のみである。受身構文でヲ格の対象(目的語)がガ格(主語)に交替することは日韓両言語にもみられる<sup>10)</sup>が、「V-고 싶다」は特殊な用法である。

### 3. 用法調査の対象の選定と基準

#### 3.1 用法調査の対象の選定

今回の用法の調査の対象は、『李箱文学賞作品集 2006-2015』（以下では、『李箱10年』と略称する）の10年間の90作の短編小説である。「李箱文学賞」は、韓国で最も権威のある文学賞の1つで、毎年大賞受賞作を含め、8～10作品を収録した『李箱文学賞作品集』を1冊刊行している。小説や新聞記事などに「V-고 싶다」の用例が散見されるが、それを集めても全体の傾向はつかみにくい。日本における韓国語教育の現場では、どのような動詞がどのような文脈でどれほど頻繁に格助詞の交替をみせるのか、これに関する1つの目安が必要である。筆者たちは現在『李箱文学賞作品集 1986-2015』の30年間の小説を対象に漢語動詞の調査をしており、韓国語の授業でのこの疑問点に答えるべく、本稿では最近の10年間の作品である《李箱10年》のデータを用いて調査をすることにした。筆者たちは、様々な媒体から様々な用法を集めるのも語彙調査の1つの方法であるが、全体の様子を把握するためには、信頼できる資料を対象とした、一度閉じた枠組みでの全数調査も必要であると考えている。また、このような全数調査により、「V-고 싶다」構文をなす動詞やその使用頻度も把握できると判断した。

#### 3.2 分析対象表現の基準

本稿では、「V-고 싶다」の用法を対象にしているため、(12ab)のように、助詞の交替がみられない「V-고 싶다」の派生形は対象外とした。

(12) a. V-고 싶어하다 (V-たがる)

저 사람은, 그림자를 찾고 싶어하는 거라고 생각해.

あの人は、影を探したがっているんだと思っている。

b. V-고 싶어지다 (V-たくなる)

그는 자신이 기획한 주현의 책에 새로운 드라마를 하나 더 첨가하고 싶어진 모양이다.

彼は、自分が企画したジュヒョンの本に新しいドラマをもう1つ加えたくなったようである。

그는 그들의 육체를 어떻게 해서든 훼손시키고 타락시키고 싶어  
진다.

彼は、彼らの肉体をどういうふうにしてでも毀損させ、墮落さ  
せたくなる。

(12a) は、「V-고 싶다」に補助動詞「-어하다」が結合して動詞化したものである。日本語の「V-たがる」に対応する。(12b) は、「V-고 싶다」に補助動詞「-어지다」が結合して動詞化したものである。日本語の「V-たくなる」に対応する。

### 3.3 有標と無標

本稿での議論に「有標」と「無標」、または「有標的」と「無標的」という概念が用いられている。これらについて、辞書からではあるが、定義を提示しておきたい。

#### 3.3.1 有標

音声・文法・語彙に見られる性質の一。複数の言語単位が同じ、あるいは同種の物事を表すときに、ある特徴を積極的に示すこと。形態的には、接辞がつく、意味的には限定される、などの特徴をもつ。(『大辞林』第4版, 2019: 2786)。

#### 3.3.2 無標

音声・文法・語彙における性質の一。複数の言語的単位が同じか同種のものごとを表すときに、ふつうに使われ、ある特徴を積極的に表さないこと(『大辞林』第4版, 2019: 2678)。

## 4. ヲ格からガ格への交替が見られる動詞の特徴

今回の《李箱10年》の調査では、90の短編小説から730の「V-고 싶다」の用例が得られた。用例の中でヲ格からガ格への格交替が見られたのは8つの動詞(異なり語数8、延べ語数25)であった。交替が見られた用例を以下に提示する。それぞれの動詞の内訳は<表1>に示す。

## 4.1 ヲ格からガ格への交替が見られた用例 25

- (1-2) 커피가 마시고 싶어서 나왔는데, 그런데, 뜨거운 게 마시고 싶은지 아이스크림을 마시고 싶은지 알 수가 없다. (06) (飲みたい)
- (3) 그녀가 미치도록 보고 싶었다. (06) (会いたい)
- (4) 당신이 보고 싶어. (07) (会いたい)
- (5) 그는 녀석이 보고 싶다. (07) (会いたい)
- (6) 어느 날 엄마가 말한 내용을 찢어버리고 ‘당신이 너무 보고 싶어요’라고 보냈다. (08) (会いたい)
- (7) 난 스크류바가 먹고 싶어. (08) (食べたい)
- (8) 왜 착한 사람들에게만 저런 일들이 일어나는지 나는 그것이 알고 싶다고 생각했었습니다. (11) (知りたい)
- (9) 나는 어서 H가 보고 싶었다. (11) (会いたい)
- (10) 공부가 하고 싶었응게. (11) (勉強がしたい)
- (11) ...아파 죽겠는 사람 붙잡고 그 것이 히고 싶냐고, 뭇대 큰 소리를 쳤어야. (11) (それがしたい)
- (12) 나는 점점 더 서커스가 보고 싶어 견딜 수 없었다. (11) (見たい)
- (13) 그녀는 매콤한 아귀집이 먹고 싶기도 했다. (11) (食べたい)
- (14) 그게 이상하게 자꾸만 하고 싶네, 멈출 수가 없어. (12) (それがしたい)
- (15) 당신이 끓여내는 국수……그 국수가 너무나 먹고 싶었던 적이 딱 두 번 있었지요 (12) (食べたい)
- (16) 커피자판기 앞에서 해고 소식을 전해 들었을 때, 나는 그저 국수가 먹고 싶다는 생각뿐이었습니다 (12) (食べたい)
- (17) 국수가 먹고 싶다면서……당신은 낯선 내 부엌에서 밀가루를 반죽해 국수를 끓여냈지요 (12) (食べたい)
- (18) 물론 나 역시 로봇 프라모델이 무척이나 갖고 싶었기 때문에 쿠폰을 열심히 모았다. (12) (もちたい、ほしい)
- (19) 난 프라모델이 무지 갖고 싶었거든. (12) (もちたい、ほしい)
- (20) 아버지, 나는 진짜 얘기가 듣고 싶어요. (13) (聞きたい)
- (21) 아버지가, 아니 엄마가 보고 싶었다. (13) (会いたい)
- (22) 그날 이후로 당신이 보고 싶을 때마다……온몸이 가려워지곤 했어요. (13) (会いたい)

- (23) 매운 게 먹고 싶다면서…… (15) (食べたい)  
 (24) 좀 부끄러운 이야기지만, 몇 년 전부터 겨울이면 그렇게 눈썰매가  
타고 싶었다. (15) (乗りたい)  
 (25) 마흔이 다 되어 눈썰매가 타고 싶다니. (15) (乗りたい)

<表 1> 格助詞の交替が見られた動詞の内訳

		日本語	ガ格	ヲ格	その他	合計
1	갖다 / 가지다	持つ	2	5	3	10
2	듣다	聴く・聞く	1	7	1	9
3	마시다	飲む	2	4	1	7
4	먹다	食べる	6	3	4	13
5	보다	見る	8	15	13	36
6	알다	知る	1	4	13	18
7	타다	乗る	2	1	1	4
8	하다	する・やる	3	* <sup>11)</sup>	*	*
			25			

<表 1>の結果から、第 1 節で述べたように、「V-고 싶다」構文の場合、ガ格標示が有標である傾向が確認できる。以下でヲ格からガ格への交替が見られた 8 つの動詞を中心にそれらの特徴を取り上げよう。

#### 4.2 使用頻度が低い

今回の《李箱 10 年》の調査で、はっきりしたのはヲ格からガ格への交替は頻繁に行われるものではないということである。730 の用例から 25 の用例がみられただけである<sup>12)</sup>。言い換えれば、ガ格標示は有標的であることである。最も用例が多かったのは「먹다 (6 例)」と「보다 (8 例)」である。「먹다」はガ格標示がヲ格標示より多かったが、「보다」はヲ格標示が多かった。普段「～가 보고 싶다」の用例に慣れていて筆者たちは、ヲ格標示が多かったことに驚きを覚えると同時に、一定のテキストを対象とした閉じた枠組みでの全数調査が必要であることを再認識させられた。「알다」は 1 例だけがガ格標示であった。

### 4.3 他動詞である

ヲ格からガ格への助詞の交替が起こる動詞は「他動詞」である。조경순 (Jo, 2018) では、自動詞の「가다 (行く)」を格標示の交替の対象として他の他動詞と一緒に取り上げているが、同じ土俵で議論することは混乱を招くだけである。「가다」は日本語の「行く」と同様に、ヲ格標示が可能な自動詞である。他動詞において、ガ格標示が有標的であるが、「가다」構文においては、ヲ格標示が有標的である。今回の《李箱 10 年》にも 30 個の「가고 싶다」の用例がみられ、中には (13k) の疑問詞、(14k) の特定の場所名詞にまでヲ格標示の用法がみられた。新聞記事からは (15k) のような用例もみられた。(13k) (14k) (15k) のヲ格標示は「-고 싶다」がもたらしたものではなく、そもそも本動詞の「가다」と共起できるものである。「山道に行く」「歩道を歩く」と同じことである。第 1 節で取り上げたように、「-고 싶다」構文でヲ格標示される名詞句の意味役割は「対象」であるが、「그 길을 가고 싶다」での「그 길 (その道)」などは「経路」である。「가다」構文で、共起する名詞句の意味役割が「経路」の場合、ヲ格標示ができるのである。

- (13) k. 아이야, 어디를 가고 싶니? (07)  
 j. ねえ、どこに行きたい?
- (14) k. 평일에는 목욕탕을 가고 주말에는 식당엔 가지. (07)  
 j. 平日は銭湯へ行き、週末は式場に行くんだよ。
- (15) k. 수행의 길, 구도의 길. 그 길을 갈 때가 바로 지금이구나. (中央日報 20180727)  
 j. 修業の道、求道の道。その道を行く時がまさに今なのだ。

ヲ格標示の名詞句は構文の条件によってガ格標示に交替できるが、これは一方向である。すなわちガ格からヲ格への交替は成り立たない。助詞の交替は文構造を変えることであり、頻繁に起きるものではない。構造的にヲ格からガ格に交替できるのは受身構文である<sup>13)</sup>。

「타다 tada (乗る)」は日本語では「N-に乗る」の項構造を持つ自動詞であるが、韓国語では (16k) のように「N-ヲ乗る」の項構造を持つ他動詞である。そのため、日本語を母語とする韓国語学習者による母語干渉は頻繁に起きている。(16k) の「乗る」以外に (17k) の「会う」、(18k) の「似

る」などが代表的であるが、日本語では格助詞の交替が起きない動詞である。(13jk)でも日韓両言語の用法上の相違がみられた。

- (16) k. 기차를 타고 싶어. (07)  
 j. 汽車に乗りたい。
- (17) k. 그렇기는 하더라도 그는 두 번 다시 아이를 만나고 싶지 않다. (13)  
 j. そうであっても、彼は二度と子どもに会いたくなかった。
- (18) k. 빛처럼 밝은 마음으로 너를 닮고 싶어. (15)  
 j. 光のように明るい気持ちで君に似たい。

#### 4.4 固有語動詞である

<表1>の8の動詞はいずれも固有語である。《李箱10年》に70個余りの漢語動詞の用例がみられたが、いずれもヲ格標示か、意味を添える他の助詞か、文脈によってはヲ格標示が省略されている。

#### 4.5 単一語動詞である

<表1>の動詞はいずれも派生の過程を経ていない単一語である。《李箱10年》で最も多くの用例がみられた「보다」の場合、「V-아 보다 (V-てみる)」の補助動詞として使われると、ヲ格標示になる。《李箱10年》で「V-아 보다」の用例は1例だけあったが、これについては5.2で論じる。

#### 4.6 連体形による対象の限定(特定)

今回の《李箱10年》の分析から得たものは、「願望の対象の限定」が助詞の交替に関わっているという示唆である。例えば、(2)の「뜨거운 게: 熱い物が」、(13)の「매콤한 아귀찜이: 少し辛いアゲチムが」、(23)の「매운 게: 辛い物が」のように、主体が求める対象が何らかの理由で限定(特定)される場合、ガ格が取りやすいと思われる。また、(8)の「그것이: それが」、(14)の「그게: それが」のような代名詞の用法も対象の意味を限定するものと考えられる。(15)の「그 국수가: その(韓国風の)麺が」の「その」のような指示代名詞も限定の働きをする<sup>14)</sup>。

以下で、有標的ガ格標示が最も多かった「먹다(食べる)」を中心に用法を分けて、傾向を覗いてみたい。

## 4.6.1 「먹다」動詞にみる有標的用法

## 4.6.1.1 限定用法

- (19) a. 그녀는 매콤한 아귀찜이 먹고 싶기도 했다. (11)  
 彼女は少し辛いアグチムが食べたかったりもした。
- b. 커피자판기 앞에서 해고 소식을 전해 들었을 때, 나는 그저 국수가 먹고 싶다는 생각뿐이었습니다. (12)  
 …私はただ麵が食べたいという思いしかありませんでした。
- c. 난 스크류바가 먹고 싶어. (08)  
 私はスクリューアイスcreamが食べたい。
- d. 당신이 끓여내는 국수……그 국수가 너무나 먹고 싶었던 적이 딱 두 번 있었지요. (12)  
 あなたが作る麵…その麵がとても食べたかった時がちょうど2回ありましたね。
- e. 매운 게 먹고 싶다면서……. (15)  
 辛い物が食べたいと言って……。

(19a-c) で、主節に「그녀는 (彼女は)」 「나는 (私は)」 「난 (私は)」 という代名詞の存在がみられた。これも限定要素の1つとみることができる。筆者たちは、この示唆を抛り所にさらに用例を増やして、別稿で交替の根拠として提示したい。

## 4.6.1.2 非限定用法

- (20) 국수가 먹고 싶다면서……당신은 낫선 내 부엌에서 밀가루를 반죽해 국수를 끓여냈지요. (12)  
麵가食べたいと言って…慣れないうちの台所で小麦粉を練って麵を作ったでしょう。

#### 4.6.2 「먹다」動詞にみる無標的用法

##### 4.6.2.1 ヲ格標示

- (21) a. 배가 고플 건 사실이지만, 그렇다고 딱히 뭔가를 먹고 싶은 것도 아니다. (10)  
 お腹がすいたのは事実だが、とは言ってこれと言った何かを食べたいわけでもない。
- b. 셋째는 큰언니에게 참기름이 듬뿍 들어간 비빔국수를 먹고 싶  
다고 말했다. (10)  
 下の妹は上の姉にごま油をたっぷりかけたビビン麵を食べた  
いと言った。
- c. 밥이 아니라 다른 걸 먹고 싶었다. (11)  
 ご飯ではなく他のものを食べたかった。

(21a-c) で、対象はいずれもヲ格標示されているが、(21b) の用法に注目したい。第6節でアンケートの結果と関連づけて取り上げるが、対象の「비빔국수 (ビビン麵)」は無標のヲ格になっている。しかし、この用例に対して、10人中9人が答えとしてガ格標示を選んだ。作家の表現の意図とは違って、読者の9人は「ごま油をたっぷりかけた」という連体節の限定の表現に反応したと考えられる。対象が限定(特定)されると、ガ格が取りやすくなると言えよう。

##### 4.6.2.2 格標示の省略

- (22) 나, 갈치<sub>Ø</sub> 먹고 싶은데. (06)  
 私、タチウオ<sub>Ø</sub> 食べたいんだけど。

「먹다」の場合、(22) の1例がみられたが、ヲ格標示は構造格であるため、他の助詞より省略が多い。特に、(22) のように、会話文では、助詞が省略されたものがより自然に聞こえる。《李箱10年》から(23a-d) のような用例がみられた。いずれも会話文での用法である。

- (23) a. 큰 배를 한 척 안 갖고 싶소? (07)  
 大きい船一隻をほしくないですか。
- b. 정말 남편 죽는 꼴을 보고 싶어서 환장을 한 거야, 뭐야! (07)  
 本当に旦那が死ぬのを見たくて気が狂ってでもしたの、何なの?
- c. 할머니 할아버지들도 죽기 전에 자기 몸을 한 번쯤 찍어 보고 싶지 않겠어요? (07)  
 おばあさん、おじいさんたちも死ぬ前に自分の体を一度くらい撮ってみたいくならないでしょうか。
- d. …영감을 따라가고 싶은 마음은 굴뚝같은데 나는 죽었다 깨나도 내 손으로…(09)  
 旦那の後を追いたい気持ちは山々だが、私はどうしても私の手では…

#### 4.6.2.3 対象（目的語）の省略

(24) で、従属節では対象の「국수」が省略されているが、入れるとしたら、「국수가」のガ格標示になる。やはり副詞の「얼마나（どれほど）」が願望に影響を及ぼしていると思われる。この副詞（句）の関わりについては4.7で取り上げる。

- (24) 얼마나 먹고 싶었으면 저리 혼자 식당에서 국수를 시켜 먹을 까……(12)  
 どれほど食べたかったら、ああいうふうに1人で、食堂で麵を頼んで食べるのかな。

#### 4.6.2.3 連体節

(25ab) のように、「먹고 싶다」が連体節をなす場合の用例もみられた。

- (25) a. 우리들은 먹고 싶은 게 각자 달랐어. (08)  
 私たちは食べたいものがそれぞれ違っていたの。
- b. 시아버지가 온종일 집에 붙어 있어서 그런지 먹고 싶은 게 있어도 눈치가 보여 해 먹을 수가 있어야지요. (11)  
 姑が一日ずっと家にいるからなのか、食べたいものがあって

も気を使ってしまい作って食べられないんですよ。

ここまで、《李箱 10 年》で格助詞の交替が最も顕著にみられた「먹고 싶다」の用例の様子を取り上げた。〈表 1〉の 8 つの動詞をみると、味覚に関わる「먹다」以外に「感覺動詞」が多いことに気づくと思われる。また「알다 (知る)」のような知覚動詞、「가지고 싶다」のような所有動詞、「타고 싶다」「하고 싶다」などの具体性の高い動作動詞が含まれている。このように人の願望や欲求に近い動詞はガ格標示が取りやすいと言えそう。

#### 4.7 副詞 (句) の共起

《李箱 10 年》では、「V-고 싶다」とガ格標示された対象の間に主体の「願望」の度合いを表わす副詞の挿入または共起が目立つ<sup>15)</sup>。(26a) は程度副詞、(26b) は頻度副詞、(26c) は程度副詞ではないが、「気が狂いそうに」の意味で (26a) に近い。(26d) の「그저」や「어서」も主体の願望の度合いに働きがけの意味を添えている。これは動詞が表わす状況に対して話者の感情が加わったと思われる。

- (26) a. 너무 (6) / 너무나 (15) / 무척이나 (18) / 무지 (19) : とても、非常に  
 b. 이상하게 자꾸만 (14) : ひっきりなしに  
 c. 미치도록 (3) : 気が狂いそうに、 점점 더 (12) :ますます  
 d. 그저 (16) : ただ、 어서 (9) : 早く、急いで

《李箱 10 年》の 25 例の中で 9 例に副詞ないし副詞句の共起がみられた。これもガ格標示の条件の 1 つと思われる。

#### 5 助詞の交替が起きないまたは起きにくい構文の特徴

今回の調査で、「ヲ格からガ格への交替」は頻繁でもなく、なにより「V-고 싶다構文」が予想より生産的でないことが分かった。また、助詞の交替は一部の動詞および表現に限ることも分かった。以下では、第 4 節での議論を踏まえながら助詞の交替が起きないと考えられる用例の特徴について見てみたい。この考察は第 6 節のアンケートの結果と符合するところが多い。

## 5.1 複合動詞

4.5での考察と関連するが、複合動詞の場合、ガ格標示は厳しい。25の用例を以て、ガ格標示の条件を論じるのは早計であるが、筆者たちは複合動詞の場合、ガ格標示が非文であると考えている。固有語動詞と漢語動詞に分け、用例を提示する。

### 5.1.1 固有語動詞

- (27) a. 내 영화는 어쩌면 그것을 뛰어넘고 싶었던 내 욕망의 자식들이었다. (06)  
 私の映画は、もしかしてそれを追い越したかった私の欲望の分身であった。
- b. \*내 영화는 어쩌면 그것인 뛰어넘고 싶었던 내 욕망의 자식들이었다.
- (28) a. 버스에 잘 올라탄 누군가를 내 손으로 끌어내리고 싶진 않다. (08)  
 버스にうまく乗り込んだ誰かを私の手で引きずりおろしたくはない。
- b. \*버스에 잘 올라탄 누군가가 내 손으로 끌어내리고 싶진 않다

### 5.1.2 漢語動詞

- (29) a. 약점을 인정 (認定) 하고 싶지 않아도 그녀와 합가를 하기 위해서는 값을 더 낮춰서라도 가능한 한 빨리 집을 처분해야 했다. (06)  
 b. \*약점인 인정 (認定) 하고 싶지 않아도 그녀와 합가를 하기 위해서는 값을 더 …
- (30) a. 아이들에게 그런 것처럼 아내에게도 나를 소개 (紹介) 하고 싶다는 이유였다. (07)  
 b. \*아이들에게 그런 것처럼 아내에게도 내가 소개 (紹介) 하고 싶다는 이유였다.
- (31) a. 나는 그것들의 정체를 향이 앞에서 확인 (確認) 받고 싶었다. (07)  
 b. \*나는 그것들의 정체가 향이 앞에서 확인 (確認) 받고 싶었다.

- (32) a. 나한테 뭘 부탁 (付託) 하고 싶은 건데? (10)  
 b. \* 나한테 뭘 부탁 (付託) 하고 싶은 건데?
- (33) a. 창연은 그를 비난 (非難) 하고 싶지 않았다. (09)  
 b. \* 창연은 그가 비난 (非難) 하고 싶지 않았다.
- (34) a. 그녀는 순간적으로 그곳에 앉는 것을 거부 (拒否) 하고 싶었다. (08)  
 b. \* 그녀는 순간적으로 그곳에 앉는 것이 거부 (拒否) 하고 싶었다.

(29a) ~ (34a) のように、漢語動詞を語幹とする「V-고 싶다」構文では助詞の交替が1つも見られなかった。この傾向はほぼ確定的であるように思われる。本動詞の漢語動詞に「V-아 보다」(V-てみる)「V-아 주다」(V-てあげる)「V-아 버리다」(V-しまう)などの補助動詞が接続すると、助詞の交替は一層厳しくなる。これらの補助動詞は本動詞が他動詞であるため、「他動性が強化した」と言える。そのため、ヲ格標示からの交替が制限されると思われる。柴谷 (1978: 264) では「主格目的語文の文法性の度合いは、その主格目的語と述語節の最終要素との間の距離に反比例する。」と述べている。このような捉え方は、「V-고 싶다」構文の格標示の交替の説明になりうるが、ごく一面を見ている。次の「補助動詞」との接続を見てみよう。

## 5.2 補助動詞

- (35) a. 나는 밀치고 들어가 서랍을 뒤져 보고 싶은 충동을 억누르며 계단을 내려왔다. (98)  
 私は押し込んで入って引き出しを隈なく探してみたい衝動を抑えながら階段を下りてきた。  
 b. \* 나는 밀치고 들어가 서랍이 뒤져 보고 싶은 충동을 억누르며 계단을 내려왔다.
- (36) a. 더 늦기 전에, 나는 그가 했던 방식으로 그의 역사를 기념 (記念) 해 주고 싶어요. (14)  
 b. \* 더 늦기 전에, 나는 그가 했던 방식으로 그의 역사가 기념 (記念) 해 주고 싶어요.
- (37) a. 하긴 우리도 그 분위기를 검증 (檢證) 해 보고 싶은 호기심에 그를 선택했던 것이다. (12)

- b. \*하긴 우리도 그 분위기가 검증 (檢證) 해 보고 싶은 호기심에 그를 선택했던 것이다.

「먹고 싶다 (食べたい)」や「보고 싶다 (会いたい・見たい・恋しい)」の用例からは、格助詞の交替が比較的多くみられたが、「먹어 보고 싶다 (食べてみたい)」「먹어 버리고 싶다 (食べてしまいたい)」のように、補助動詞が後続すると、格助詞の交替は起きない。複合動詞と同様に「他動詞+他動詞+싶다」の場合も「他動性が強化した」と考えられる。

- (38) a. 나는 호방한 여자처럼 일본 술인 사케와 말 사시미를 먹어 보고 싶다고 했다. (11)

私は豪快な女のように、日本のお酒である酒と馬の刺身を食べてみてみたいと言った。

- b. \*나는 호방한 여자처럼 일본 술인 사케와 말 사시미가 먹어 보고 싶다고 했다.

- (39) 폭신평신했던 고독감 속에 파묻혀 휴일이면 온종일 인터넷을 하거나 영화를 보고, 아무렇게나 입은 채, 아무 때나 일어나, 아무거나 먹어 버리고 싶다. (07)

ふわふわの孤独感に埋もれ、休日なら一日中インターネットをしたり映画を観たりして、適当に着たまま、起きたい時に起き、何でも食べてしまいたい。

(39)は対象を「特定」または「限定」しない意味を含意する「아무거나(なんでも)」が用いられたため、格標示はない。しかし、文脈を替えた場合、ヲ格標示の(40a)は文法的で、ガ格標示の(40b)は非文であると思われる。

- (40) a. 나는 어머니께 집에 있는 양주를 다 마셔 버리고 싶다고 말했다.  
b. \*나는 어머니께 집에 있는 양주가 다 마셔 버리고 싶다고 말했다.

### 5.3 使役構文

使役構文、とりわけ漢語動詞からの派生形の使役構文の場合、格助詞の交替は起きない。(41a)の元動詞の「노출 (露出) 하다」は他動詞、(42b)の元動詞の「와해 (瓦解) 하다」は自他両用動詞である。使役接辞の「-시키다 sikida」は本動詞が他動詞である。結局使役動詞も「他動詞+他動

詞+싶다」の語構成をなしており、複合動詞と同様に「他動性が強化した」ため、ガ格標示は許容されないと考えられる。

- (41) a. 내가 여전히 돌아누운 채로 있었던 것은 필요 이상의 감정을  
노출(露出) 시키고 싶지 않았던 것이다. (11)  
b. \*내가 여전히 돌아누운 채로 있었던 것은 필요 이상의 감정의  
노출(露出) 시키고 싶지 않았던 것이다.
- (42) a. 할 수만 있다면 이야기를 점진적으로 와해(瓦解) 시키고 싶다.  
(11)  
b. \*할 수만 있다면 이야기<sup>가</sup>를 점진적으로 와해(瓦解) 시키고 싶다.

第4節と第5節の考察から、<表2>のような格標示の条件が浮き彫りになってきた。

<表2>ヲ格からガ格への交替にみる統語論的・意味論的条件

ガ格標示の条件	交替が可能な動詞		ヲ格標示の条件
願望欲求の強化	20語前後(と予想している)		他動性の強化
有標的	韓国語	日本語	無標的
他動詞	갖다 / 가지다	持つ	他動詞
固有語	듣다	듣く・聞く	複合動詞
単一語	마시다	飲む	漢語動詞
連体形による対象の限定	먹다	食べる	補助動詞
副詞(句)の共起	보다	見る	使役動詞
感覚動詞	알다	知る	…
…	타다	乗る	
	하다	する・やる	
	…	…	

## 6 簡易アンケートから得た示唆

### 6.1 簡易アンケートのインフォーマント

本稿では、韓国語教育または日韓対照言語学・文学を専門としている10人の韓国人研究者<sup>16)</sup>に簡易アンケート調査を実施した。その結果を原作の助詞を正解とし、点数化して<表3>にまとめた。答えに揺れの大きいものと揺れないものに分かれた。

## 6.2 簡易アンケート

『李箱10年』から選んだ用例は25例である。これに『李箱文学賞作品集』(1996-2005)から5例(4)・(22)・(23)・(27)・(29)を加えて30例にしてアンケートを実施した。

- \* ( ) 안에 적절한 조사 (ㄱ/이) 또는 (ㄷ/을) 를 넣어 주십시오.
- [1-2] 커피 (ㄱ) · 60%) 마시고 싶어서 나왔는데, 그런데, 뜨거운 게 마시고 싶은지 아이스크림 (ㄷ) · 30%) 마시고 싶은지 알 수가 없다<sup>17)</sup>. (06)
- [3] 박의 아내가 커피 (ㄷ) · 70%) 마시고 싶다고 대답했다. (15)
- [4] 뜨거운 물에 목욕을 하고 오 밀리미터쯤의 거품이 덮인 맥주 (ㄷ) · 70%) 마시고 싶었다. (98)
- [5] 배가 고픈 건 사실이지만, 그렇다고 딱히 뭐가 (ㄷ) · 60%) 먹고 싶은 것도 아니다. (10)
- [6] 셋째는 큰언니에게 참기름이 듬뿍 들어간 비빔국수 (ㄷ) · 10%) 먹고 싶다고 말했다. (10)
- [7] 난 스크류바 (ㄱ) · 70%) 먹고 싶어. (08)
- [8] 그녀는 매콤한 아귀찜 (ㅇ) · 80%) 먹고 싶기도 했다. (11)
- [9] 나는 어서 H(ㄱ) · 40%) 보고 싶었다. (11)
- [10] 나는 점점 더 서커스 (ㄱ) · 90%) 보고 싶어 견딜 수 없었다. (11)
- [11] 그녀 (ㄱ) · 90%) 미치도록 보고 싶었다. (06)
- [12] 나는 엄마 (ㄷ) · 70%) 보고 싶지 않았다. (14)
- [13] 서커스 (ㄷ) · 100%) 보고 싶은 마음이야 굴뚝같았지만 탁구대를 쳐 분할 수는 없었다. (14)
- [14] 여자친구가 형 (ㅇ) · 80%) 보고 싶다고 했을 때 내키지 않았던 이유는 따로 있었는지 모른다. (14)
- [15] 나 역시 로봇 프라모델 (ㅇ) · 80%) 무척이나 갖고 싶었기 때문에 쿠폰을 열심히 모았다. (12)
- [16] 아버지, 나는 진짜 얘기 (ㄱ) · 30%) 듣고 싶어요. (13)
- [17] 마흔이 다 되어 눈썰매 (ㄱ) · 60%) 타고 싶다니. (15)
- [18] 또 그 헛소리 (ㄷ) · 80%) 하고 싶은 모양이군. (15)
- [19] 난 무엇 (ㅇ) · 40%) 알고 싶었던 걸까? (12)
- [20] 왜 착한 사람들에게만 저런 일들이 일어나는지 나는 그것 (ㅇ) · 50%) 알고 싶다고 생각했었습니다. (11)
- [21] 연고가 없는지 (ㄷ) · 100%) 알고 싶어 질문을 퍼부어댔고 그는 하는

- 수 없이 왜 강원도에 연고가 없는지에 대해 진지하게 답변했다. (11)
- [22] 다만 진실 (㉮·70%) 알고 싶은 것뿐이라고. (02)
- [23] 그 이유 (㉮·90%) 알고 싶은 게 아니라, 그래서 당신께 고맙다는 말을 하고 싶은 거요. (04)
- [24] 나도 당신 (㉮<sup>18</sup>·100%) 죽이고 싶은 순간이 없었는 줄 알아? (12)
- [25] 여유만 있다면 자네도 어머니 (㉮·100%) 편히 모시고 싶지? (08)
- [26] 창연은 그 (㉮·100%) 비난하고 싶지 않았다. (09)
- [27] 그러나 나는 어머니 (㉮·100%) 안심시키고 싶었다. (98)
- [28] 할 수만 있다면 이야기(㉮·100%) 점진적으로 와해시키고 싶다. (11)
- [29] 일순 그녀 (㉮·100%) 와락 부둥켜안고 싶다는 생각이 들기도 했지만, ... (98)
- [30] 아이들에게 그런 것처럼 아내에게도 나 (㉮·100%) 소개하고 싶다는 이유였다. (07)

<表 3> 30 の「V-고 싶다」の用例のアンケート

番号	助詞	本動詞	解答 1	解答 2	解答 3	解答 4	解答 5	解答 6	解答 7	解答 8	解答 9	解答 10	%
1	가	마시다・飲む	를	○	를	○	○	○	를	를	○	○	60
2	를	마시다・飲む	가	가	가	가	가	○	가	○	가	○	30
3	를	마시다・飲む	가	○	○	가	○	○	○	○	○	가	70
4	를	마시다・飲む	○	○	○	○	○	가	가	○	가	○	70
5	를	먹다・食べる	○	○	○	가	가	가	○	○	가	○	60
6	를	먹다・食べる	가	○	가	가	가	가	가	가	가	가	10
7	가	먹다・食べる	○	○	를	○	○	○	를	를	○	○	70
8	이	먹다・食べる	○	○	를	○	○	를	○	○	○	○	80
9	가	보다・見る / 会う	○	를	○	를	○	를	를	를	○	를	40
10	가	보다・見る / 会う	○	○	○	○	○	○	를	○	○	○	90
11	가	보다・見る / 会う	○	○	○	○	○	○	를	○	○	○	90
12	를	보다・見る / 会う	○	○	○	○	가	○	가	○	가	○	70
13	를	보다・見る / 会う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
14	을	보다・見る / 会う	이	○	○	○	○	○	○	○	○	이	80
15	이	갖다・持つ	○	○	○	○	○	○	○	을	○	을	80
16	가	듣다・聴く / 聞く	를	를	를	○	를	○	를	를	○	를	30
17	가	타다・乗る	○	를	○	○	를	○	○	○	○	를	60
18	를	하다・する	○	○	○	가	○	○	가	○	○	○	80
19	을	알다・知る	을	을	을	을	○	을	○	○	을	○	40
20	이	알다・知る	을	○	○	○	을	을	을	○	을	○	50
21	를	알다・知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
22	을	알다・知る	이	○	이	이	○	○	○	○	○	○	70
23	를	알다・知る	○	○	○	가	○	○	○	○	○	○	90
24	○	죽이다・殺す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
25	를	모시다	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
26	를	비난하다	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
27	를	안심시키다	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
28	를	와해시키다	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
29	를	부동켜안다	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100
30	를	소개하다	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100

## 6.2 回答の傾向と分析

### 6.2.1 正解率が 50%以下のもの：6 例

これに関わった動詞は、(43) の 5 種類の動詞である。下に用例も提示する。前の番号はアンケートの一連番号である。

- (43) a. 듣다 (聴く / 聞く) 1  
 b. 마시다 (飲む) 1  
 c. 먹다 (食べる) 1  
 d. 보다 (見る) 1  
 e. 알다 (知る) 2 (計 6 例)

- [2] 커피가 마시고 싶어서 나왔는데, 그런데, 뜨거운 게 마시고 싶은지 아이스크림 (를 30%) 마시고 싶은지 알 수가 없다. (06)
- [6] 셋째는 큰언니에게 참기름이 듬뿍 들어간 비빔국수 (를 · 10%) 먹고 싶다고 말했다. (10)
- [9] 나는 어서 H(가 · 40%) 보고 싶었다. (11)
- [16] 아버지, 나는 진짜 얘기 (가 · 30%) 듣고 싶어요. (13)
- [19] 난 무엇 (을 · 40%) 알고 싶었던 걸까? (12)
- [20] 왜 착한 사람들에게만 저런 일들이 일어나는지 나는 그것 (이 · 50%) 알고 싶다고 생각했었습니다. (11)

### 6.2.2 正解率が 60 ~ 80%のもの : 12 例

これに関わった動詞は、7種類の動詞である。格助詞の交替を見せるほとんどの動詞において、文脈によっては交替が起こりうることを示唆するものである。

(44) a.	갖다 (持つ)	1
b.	마시다 (飲む)	3
c.	먹다 (食べる)	3
d.	보다 (見る)	2
e.	알다 (知る)	1
f.	타다 (乗る)	1
g.	하다 (する · やる)	1 (計 12 例)

### 6.2.3 正解率が 90%のもの : 3 例

- [10] 나는 점점 더 서커스 (가 · 90%) 보고 싶어 견딜 수 없었다. (11)
- [11] 그녀 (가 · 90%) 미치도록 보고 싶었다. (06)
- [23] 그 이유 (를 · 90%) 알고 싶은 게 아니라, 그래서 당신께 고맙다는 말을 하고 싶은 거요. (04)

上記の3例においても答えに迷いがあったように思われる。[10]と[11]は、主体ないし動作主の感情が表れている副詞が共起していることから格を選ぶ人が多かったが、この2問について同じ人がヲ格を選んだ。今後

も副詞（句）の存在に注目しながら、格助詞の交替の条件を精密化したい。

[23] は文自体の流れが不自然なところがあったが、9人がヲ格を選んだ。対象に限定の働きをする指示詞の共起から理論的にはガ格を選ぶ可能性が高いと思ったが、ヲ格が多かった。

ここで1つ比較してもらいたい用例がある。下の[10]と[13]を見てみよう。対象は同じ「サーカス」であるが、助詞の選択ははっきり分かれている。[10]も[13]も主体の「見たい気持ち」が文中に強く表れていたが、選択が分かれたのは「점점 더 (ますます)」という副詞句の存在が大きいと思われる。

[10] 나는 점점 더 서커스 (가・90%) 보고 싶어 견딜 수 없었다. (11)

(私はますますサーカスが見たくてたまらなかった)

[13] 서커스 (를・100%) 보고 싶은 마음이야 굴뚝같았지만 탁구대를  
처분할 수는 없었다. (14)

(サーカスを見たい気持ちは山々だったが、卓球台を処分することはできなかった)

#### 6.2.4 正解率が100%のもの：9例

[13] だけが単一語で、他の8例は派生上の特徴を持っている。4.2で触れたように、普段「～가 보고 싶다」の用例に慣れていた筆者たちに対して、[13]のような用例と回答は課題を与えてくれた。「～가 보고 싶다」が多義語である可能性も排除できないということである。日本語の意味を借りると「会いたい」「見たい」「恋しい」に分けられると思われるが、本稿ではこれ以上の考察はできなかった。

他の8例の特徴も見てみよう。

[21] 名詞句ではない、漠然とした疑問を抱く連結語尾

[24] 使役構文

[25] 敬語表現

[26] 漢語動詞

[27] 使役構文

[28] 使役構文

[29] 複合動詞

## [30] 漢語動詞

[25] の敬語表現の場合、主体も有情物、対象も「目上の人・方」、すなわち有情物に限られる。対象をガ格標示した場合、主体のガ格標示と重複する状況が生じる。Hopper & Thompson (1980 : 252) で、構文での参加者 (participant) が多いほど他動性が高くなると論じられている。参加者という観点から敬語表現を捉えた場合、他動性が高い、すなわちヲ格になることはインフォーマントの答えに符合すると思われる。補助形容詞の「싶다」に支えられている「V-고 싶다」構文が、文脈に混乱を招くまでして、願望を貫くほど格助詞の支配能力が強くないことは上の考察で確認された。〈表2〉のヲ格標示の条件のところに「敬語表現」も加えてもいいと思われる。敬語表現が他動性の強化と関係があるのかは、より多くの用例が必要である。〈表2〉をより精緻化することは本稿での紙幅の問題もあるため、課題としたい。

## 7 韓国語教育への示唆

本稿では、《李箱 10 年》から収集した 730 の「V-고 싶다」の用例を分類、分析し、ヲ格標示からガ格標示への交替を見せた 25 の他動詞について交替の構文的条件を考察した。またその用例を用いてアンケート調査も実施した。その結果から韓国語教育に還元できる示唆は下記のようにまとめられる。

- ① 「V-고 싶다」構文は日常的表現で、特定の動詞に偏りはあるものの、頻度は低くないと思われるが、ガ格標示は多くない。
- ② 「V-고 싶다」構文においてガ格標示は有標的（願望の強さを打ち出す要素）である。
- ③ 格標示の交替は「他動詞+고 싶다」に限られる。
- ④ ガ格からヲ格への交替を見せる動詞は固有語、単一語である。
- ⑤ 対象が限定（特定）される場合や動作主体の願望に寄りそうような副詞（句）が共起するという、条件が必要である。
- ⑥ ヲ格からガ格への交替は一部の動詞にみられる「語彙的」性格も帯びている。
- ⑦ 他動性が強化される文構造（複合動詞・漢語動詞・補助動詞・使役動

詞など) では、交替は起きない。

## 8 おわりに

本稿では、《李箱 10 年》から得られた 730 の「V-고 싶다」の用例を対象に格助詞の交替について考察した。8つの動詞から格交替の現象がみられたが、この多くない数には統語的制約がかかっていることが分かった。今回の《李箱 10 年》からは採集できなかったが、「그게 꼭 사고 싶어 (それがどうしても買いたい)」「주름치마가 너무 너무 입고 싶어 (ギャザースカートがどうしても穿きたい)」のように、「사다 (買う)」「입다 (穿く)」の用例も成り立ちそうである。《李箱 10 年》を対象とした上記での分析の結果を拠り所にして、『李箱文学賞作品集 1986-2015』の 30 年間のデータを用いてさらに調査を続け、その結果は別稿で取り上げたい。

## 注

- 1) 本研究は、JSPS 科研費 19K00775 の助成を受けたものである。
- 2) 日本語の対格助詞ヲに当たる助詞で、先行音節が母音で終わると「ㄹ」(縮約形は「ㄹ」)、子音で終わると「을」が対応する。ヲとその用法が必ずしも一致するものではない。
- 3) 日本語の主格助詞ガに当たる助詞で、先行音節が母音で終わると「가」, 子音で終わると「이」が対応する。ガとその用法が必ずしも一致するものではない。
- 4) この現象について、柴谷(1978:263)では「主格目的語」という用語が用いられている。
- 5) この数字は用例の出典である『李箱文学賞作品集 2006-2015』の作品集の出版年度を表わす。便宜上、下 2 桁で表示する。
- 6) 文頭の?は文が不自然、\*は当該の文が成り立たない、ないし非文であることを表わす。
- 7) 出典：<https://stdict.korean.go.kr/search/searchView.do>
- 8) 韓国語学では、「動詞」と「形容詞」が含まれるが、日本語学では「動詞」「形容詞」「形容動詞」の 3 品詞が含まれる。『李箱文学賞作品集 2006-2015』から得られたデータに、「N-이고 싶다」が数例含まれていた。これは、「이다」が活用するからであるが、日本語の助動詞「だ」の意味と機能に対応する「이다」は韓国語学では助詞であるため、用言には含まれない。
- 9) 韓国語学にはない品詞である。『大辞林』(2019:1370)には次のように記述されている。「国語の品詞の一。付属語で活用のあるもの。用言や他の助動詞について、これにいろいろな意味を加えて叙述を助けたり、名詞その他の語について、これに叙述のはたらきを与えたりする。その表す意味によって、受け身・自発・可能・尊敬・使役・打ち消し・過去・完了・推量・意志・希望・伝聞・様態・断定・比況・丁寧などに分類する。動辭。はたらくてにをは」。

- 10) 日本語で、他動詞を受身化するのには「助動詞」であるが、韓国語では「接尾辞」と「補助動詞」が担っている。自動詞または他動詞を使役化するのも同じく「接尾辞」と「補助動詞」である。
- 11) 今回の調査では、固有語と漢語動詞を合わせて多くの「하다」動詞の用法がみられたが、様子が複雑であったことと本稿での議論と直接関係がなかったため、カウントしなかった。
- 12) 엄정호 (Um Jungho : 174) でも同様の指摘がある。「V-고 싶다」用例全体の1%にも満たないと述べている。本稿の場合、730用例の中で25の用例がみられたので、3.42%である。これは、調査対象が小説であることと関係があると思われる。用例を見て分かるように、表現が日常的かつ具体的であるため、他のジャンルより動作の主体の願望を表わしやすい面があると思われる。
- 13) 厳密にいうと、「交替」ではなく、「移動」かも知れない。格助詞の交替と移動の違いについてはより細かい議論が必要である。
- 14) 格助詞の有標的標示について、「限定」「特定」「指定」などの表現が用いられている。これは統語論レベルでの概念ではなく、意味論または語用論レベルでの概念である。特に韓国語学の中で「限定」と「特定」をめぐって意見が一致していないことが現状である。どちらが上位概念なのか、またこの二者の相違は何なのかははっきりしたら、格標示においても議論がより明確になるとと思われる。
- 15) 엄정호 (Um Jungho : 183) では、「直接」「自ら」など主体の動作に呼応する (agent-oriented) 副詞が介入すると、交替が制約されると述べている。これは、程度副詞または頻度副詞の介入とは反対の傾向を示すものであり、より綿密な検討が求められる。
- 16) 年齢は30～50代である。日本の大学で教えている人が6人、韓国の大学で教えている人が4人である。
- 17) 1つの文に「V-고 싶다」が3回使われた珍しい用例である。鄭美景作家の「맘이여, 나눠어라」(2006)からの用例である。鄭美景作家は助詞1つの選択にも気を使った、表現に厳しい作家であった。筆者の尹とは、面識はないが、文通をしていた間柄で、率直な人柄が偲ばれる。この用例における助詞の選択の違いを確かめる前に、2017年1月、56歳の若さで亡くなった。横浜訪問を直前にしていただけに、口惜しさが募る。文学作品を分析の対象にしている筆者たちにとって一字一句の表現にこだわりを持つ作家の文学精神や取り組む姿勢は重要な要素である。作家精神に徹底していた鄭美景作家の気高い姿勢をここに記して敬意を表すると同時にご冥福をお祈りしたい。
- 18) 本文に助詞は省略されていたが、助詞を求めたところ、全員「을」で答えた。

## 【参考文献】

- 엄정호 (Um, Jungho) (2003) 「-고 싶다 구문의 격 교체:-고 싶다構文の格交替」『国語学』 41 pp.169-195 国語学会:소울
- 엄정호 (Um, Jungho) (2011) 「격의 개념과 한국어의 조사:格の概念と韓国語の助詞」『国語学』 62 pp.199-223 国語学会:소울
- 柴谷方良 (1978) 『日本語の分析-生成文法の方法-』大修館書店
- 조경순 (Jo, Kyeong-Sun) (2018) 「NP1 이 NP2 V 고 싶다' 구문의 구성과 NP2 조사 교체 연구: 'NP1 가 NP2 V 고 싶다' 構文의 구성과 NP2의 助詞交替研究」『国語学』 86 pp.89-119 国語学会:소울
- 南基心·高永根 (2014) 『標準国語文法論』第4版 博而精:소울
- Hopper, P.J., and S.A.Thompson (1980) "Transitivity in grammar and discourse," *Language*, Vol. 56-2, pp.251-299.
- 『ワンフリーズコリアン1』(2019) 私家版

## 【辞書】

<日本語>

- 松村明編 (2019) 『大辞林』第4版 三省堂
- 尹亭仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』三省堂

<韓国語>

- 李基文監修 (2003) 『東亜新国語辞典』第5版 東亜出版社
- 『標準韓国語大辞典』(インターネット版) 国立国語研究院

## 【図】

- 佐野よる (2017) 『君の臍臓をたべたい』双葉社
- 양윤옥 (2017) 『너의 체장을 먹고 싶어 (노블판):君の臍臓をたべたい』(株)소미미디어:소울

## 【出典一覧】『李箱文学賞作品集 2006-2015』《李箱 10年》(収録順)

\* 漢字名が公開されている作家の場合のみ、併記した。

2006年 (7作家、8作品)

정미경 (鄭美景): 밤이여, 나뉘어라夜よ、分離しろ・나의 피투성이 연인私の血まみれの恋人/구광분(具光本): 긴 하루長い1日/함정임(咸貞任): 자두스모모/김경욱(金勁旭): 위험한 독서危險な読書/김영하(金英夏): 아이스크림아이스크림/전경린(全鏡潾): 야상록夜想録/윤성희(尹成姬): 무릎膝

2007年 (8作家、9作品)

전경린(全鏡潾): 천사는 여기 머문다天使はここに泊まる・천사는 여기 머문다1天使はここに泊まる1/공선옥(孔善玉): 빗속에서雨の中で/한창훈(韓昌勳): 아버지과 아들父と息子/김연수(金衍洙): 내겐 휴가가 필요해私には休暇が必要だ/권여선(權汝宣):

약콩이 끓는 동안薬豆が煮込まれる間／천운영(千雲寧) : 소년 J 의 말끔한 허벅지少年 J のすらっとした内もも／편혜영(片惠英) : 첫 번째 기념일初めての記念日／김애란(金愛爛) : 침이 고인다唾液が溜る

2008 年 (8 作家, 9 作品)

권여선(權汝宣) : 사랑을 믿다愛を信じる・내 정원의 붉은 열매私の庭の赤い実／정영문(鄭泳文) : 목신의 어떤 오후牧神のある午後／하성란(河成蘭) : 그 여름의 修辭あの夏の修辭／김종광(김종광) : 서열 정하기 국민투표—올려, 낙서공화국 1 序列を決める国民投票—栗麗、落書き共和国／윤성희(尹成姬) : 어찌면もしかして／천운영(千雲寧) : 내가 데려다 줄게私が連れていってあげる／박형서(パクヒョンソ) : 정류장停留場／박민규(朴政奎) : 낮잠昼寝

2009 年 (8 作家, 9 作品)

김연수(金衍洙) : 산책하는 이들의 다섯 가지 즐거움・다시 한 달을 가서 설산을 넘으면／이혜경(李惠敬) : 그리고 축제そして祝祭／정지아(ジョンジア) : 봄날 오후, 과부春の午後、未亡人 3 人／공선옥(孔善玉) : 보리밭에 부는 바람／전성태(全成太) : 두 번째 왈츠二番目のワルツ／조용호(チョヨンホ) : 신천용／박민규(朴政奎) : 龍／윤이형(ユンイヒョン) : 완전한 항해完全な航海

2010 年 (8 作家, 9 作品)

박민규(朴政奎) : 아침의 문朝の門・딜도가 우리 가정을 지켜줬어요ディルドがうちの家庭を守ってくれました／배수아(ベスア) : 무종다이콘의種／전성태(全成太) : 이야기를 돌려드리다話を返して差し上げる／윤성희(尹成姬) : 매일매일 초승달毎日三日月／김중혁(金重赫) : 3 개의 식탁, 3 개의 담배 3 つの食卓, 3 つの煙草／편혜영(片惠英) : 통조림공장缶詰工場／손홍규(孫洪奎) : 투명인간透明人間／김애란(金愛爛) : 그곳에 밤여기의 노래そこに夜、この歌

2011 年 (8 作家, 9 作品)

공지영(孔枝泳) : 맨발로 글목을 돌다裸足で文の角を曲がる・진지한 남자真摯な男／정지아(ジョンジア) : 목욕 가는 날銭湯に行く日／김경욱(金勤旭) : 빅브라더ビッグブラザー／전성태(全成太) : 국화를 안고菊を抱えて／김숨(キムスム) : 아무도 돌아오지 않는 밤誰も帰ってこない夜／김연수(キムオンズ) : 금고에 갇히다金庫に閉じ込められる／김태웅(キムテヨン) : 뒤에後ろに／황정은(ファンジョンウン) : 猶生氏

2012 年 (8 作家, 9 作品)

김영하(金英夏) : 옥수수와 나トウモロコシと私・그림자를 판 사나이影を売った男／함정임(咸貞任) : 저녁식사가 끝난 뒤夕食が終わった後／김경욱(金勤旭) : 스프레이스プレー／하성란(河成蘭) : 오후, 가로지르다午後、横切る／김숨(キムスム) : 국수(韓國風)의 麵／조해진(チョヘジン) : 유리ガラス／최제훈(チェジェフン) : 미루의 초상화ミルの肖像画／조현(チョヒョン) : 그 순간 너와 나는あの瞬間君と私は

2013 年 (8 作家, 9 作品)

김애란(金愛爛) : 침묵의 미래沈黙の未来／함정임(咸貞任) : 기억의 고고학記憶の考古学／이평재(이평재) : 당신이 모르는 이야기あなたの知らない話／천운영(千雲寧) : 엄마도 아시다시피お袋もご存じのように／손홍규(孫洪奎) : 배우가 된 노인俳優になった老人／염승숙(ヨムスンスク) : 濕습濕／이장욱(李章旭) : 절반 이상의 하루오

半分以上のハルオ／편혜영 (片惠英) : 밤의 마침夜の終わり

2014年 (9作家、10作品)

편혜영 (片惠英) : 몬순몬soon·저녁의 구애夕方の求愛 / 김숨 (キムスム) : 法 앞  
에서法の前で / 손홍규 (孫洪奎) : 기억을 잃은 자들의 도시記憶を失った者たちの都市 /  
천명관 (チョンミョングアン) : 과충류의 밤爬虫類の夜 / 조해진 (조혜진) : 빛의 호  
위光の護衛 / 윤고은 (윤고은) : 프레디의 사생아 프레디의 私生児 / 이장욱 (李章  
旭) : 기린이 아닌 모든 것에 대한 이야기 키린ではないすべてのものに関する話 / 윤이  
형 (윤이형) : 쿤의 여행 쿤の旅 / 안보운 (안보운) : 나선의 방향 螺旋の方向

2015年 (8作家、9作品)

김숨 (キムスム) : 뿌리 이야기 根っこの話 · 왼손잡이 여인 左利きの女 / 전성태 (全成太) :  
소풍遠足 / 조경란 (趙京蘭) : 기도에 가까운祈りに近い / 이평재 (이평재) : 흥의  
멜로디土のメロディー / 윤성희 (尹成姬) : 휴가 休暇 / 손홍규 (孫洪奎) : 배회徘徊 / 한유  
주 (한유주) : 일곱 명의 동명이인들과 각자의 순간들 7人の同名異人と各々の瞬間  
/ 이장욱 (李章旭) : 크리스마스캐럴 크리스マスカヤロ